

## 第6次「トヨタ車体環境取り組みプラン」(2016～2020年度)を策定

### 1. 第6次環境取り組みプランの概要

トヨタ車体は、従来から環境にやさしいクルマづくりのもとで、自動車および自動車部品の技術・製品開発、工場計画、生産活動における環境保全、省資源活動を重要な柱として位置づけ、事業展開を図ってきました。

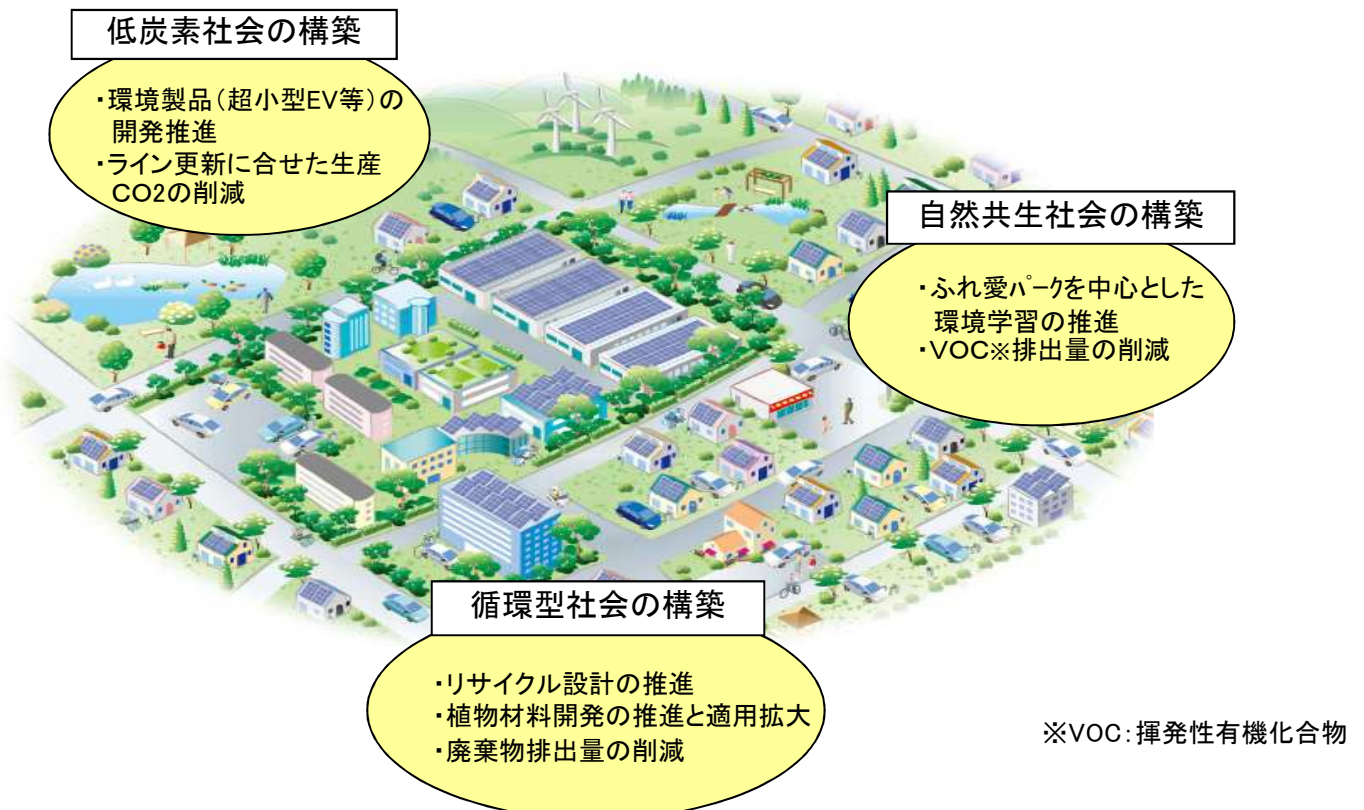
具体的には1993年に第1次環境取り組みプランを策定し、本格的な環境保全活動に着手。その後5年ごとに順次取り組みのレベルアップを図り、2016年3月、第6次「トヨタ車体環境取り組みプラン」を策定し、2016年度から2020年度までの5カ年計画を展開します。

当社がこれから取り組む環境活動について

- (1) **低炭素社会**の構築
- (2) **循環型社会**の構築
- (3) **環境保全と自然共生社会**の構築

を第5次プランから引き続き、これらを3大重点テーマとして掲げ、**開発・設計、生産**の各分野での取り組み項目と、具体的実施事項を策定し、**国内・海外連結子会社を含めたオールトヨタ車体**で総合的な環境マネジメントを推進していきます。

### <第6次プラン概要>



## 2. 第6次 トヨタ車体環境取り組みプランの実施項目と目標

第6次環境取り組みプラン																			
分野	取り組み項目	具体的な実施項目・目標等																	
製品環境	低炭素	電気エネルギーを利用した次世代車の開発推進	・燃料電池車の性能向上・普及拡大に貢献する燃料電池関係部品の開発推進 ・超小型EVの普及に向けたコムの商品改良と新たな商品開発																
		自動車燃費向上に寄与する軽量化技術の開発と製品化	・構造合理化によるボデー軽量化の推進 ・軽量高強度材料への置き換え拡大によるボデー軽量化																
	循環型	資源の有効利用に配慮したリサイクル設計の一層の推進と展開	・リサイクル樹脂の活用と市場のリサイクル事情や新規技術・材料に対応した易解体構造の織込み推進																
		循環型社会の構築に資する新規事業の推進	・間伐材等の活用による植物材料開発の推進と適用拡大																
マネジメント	トヨタ自動車ECO-VAS※への積極的参画によるライフサイクル環境負荷の低減 (ECO-VAS:生産から使用・廃棄にわたり、環境影響を総合的に評価するシステム)	・トヨタ自動車との協業、モデルチェンジ・新型車の車両環境アセスメント (ECO-VAS)実施																	
生産環境	低炭素	生産活動におけるCO2排出量の低減	生産CO2排出量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th colspan="2">目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グローバル※1</td> <td>台当り排出量</td> <td>2001年度比</td> <td>17%減</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">自社</td> <td>台当り排出量</td> <td>2001年度比</td> <td>17%減</td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>1990年度比</td> <td>10%減</td> </tr> </tbody> </table>	地域	項目	目標(2020年度)		グローバル※1	台当り排出量	2001年度比	17%減	自社	台当り排出量	2001年度比	17%減	排出量	1990年度比	10%減
			地域	項目	目標(2020年度)														
	グローバル※1	台当り排出量	2001年度比	17%減															
	自社	台当り排出量	2001年度比	17%減															
		排出量	1990年度比	10%減															
	温室効果ガス排出量 (CO2以外)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自社</td> <td>排出量把握(HFC・PFC・SF6・N2O・CH4)</td> </tr> <tr> <td>連結※2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	地域	目標(2020年度)	自社	排出量把握(HFC・PFC・SF6・N2O・CH4)	連結※2												
地域	目標(2020年度)																		
自社	排出量把握(HFC・PFC・SF6・N2O・CH4)																		
連結※2																			
循環型	生産活動における排出物低減と資源有効利用	廃棄物排出量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th colspan="2">目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自社</td> <td>台当り排出量</td> <td>2008年度比</td> <td>9%減</td> </tr> <tr> <td>連結※2</td> <td>排出量管理</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	地域	項目	目標(2020年度)		自社	台当り排出量	2008年度比	9%減	連結※2	排出量管理						
		地域	項目	目標(2020年度)															
自社	台当り排出量	2008年度比	9%減																
連結※2	排出量管理																		
水使用量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自社</td> <td>ライン改装に合せた低減取組み</td> </tr> <tr> <td>連結※2</td> <td>使用量管理</td> </tr> </tbody> </table>	地域	目標(2020年度)	自社	ライン改装に合せた低減取組み	連結※2	使用量管理												
地域	目標(2020年度)																		
自社	ライン改装に合せた低減取組み																		
連結※2	使用量管理																		
自然共生	生産活動における塗装VOC※の低減 (VOC:揮発性有機化合物)	ボデーVOC排出量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th colspan="2">目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自社</td> <td>塗装面積当たり排出量</td> <td>1998年度比</td> <td>68%減</td> </tr> <tr> <td>連結※2</td> <td>排出量管理</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	地域	項目	目標(2020年度)		自社	塗装面積当たり排出量	1998年度比	68%減	連結※2	排出量管理						
		地域	項目	目標(2020年度)															
自社	塗装面積当たり排出量	1998年度比	68%減																
連結※2	排出量管理																		
バンパーVOC排出量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自社</td> <td>塗料・洗浄シンナー使用量削減</td> </tr> <tr> <td>連結※2</td> <td>排出量管理</td> </tr> </tbody> </table>	地域	目標(2020年度)	自社	塗料・洗浄シンナー使用量削減	連結※2	排出量管理												
地域	目標(2020年度)																		
自社	塗料・洗浄シンナー使用量削減																		
連結※2	排出量管理																		
社会連携	自然共生	生物多様性保全活動による地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林、ピオトープ整備、教育を軸とした地域とつながる人づくり</li> <li>〈自社・連結〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林間伐活動の推進</li> <li>・植樹活動の展開</li> <li>・地域と連携した環境学習の推進</li> </ul> </li> </ul>																
環境経営	マネジメント	連結環境マネジメントの強化推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域、工場での環境法令遵守と環境パフォーマンスの把握と管理の充実</li> <li>・各国、各地域での環境法令遵守と環境リスクの未然防止活動の徹底強化</li> <li>・グローバルな製品化学物質管理の充実</li> </ul>																
		仕入先と連携した環境活動の一層の推進	・仕入先における違法対応と当社へ納入される部品、原材料等に含まれる環境負荷物質の管理充実および自主的な環境パフォーマンス向上活動の要請																
		環境教育の充実と推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員教育の充実</li> <li>〈自社〉階層別、海外赴任者、海外受入者への教育を実施</li> <li>〈連結〉各国毎の実情に合せた環境教育の実施</li> </ul>																
		環境情報の積極的開示とコミュニケーションの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSRレポートの内容充実と継続発行</li> <li>・地域社会とのコミュニケーションの充実</li> </ul>																

※1: 自社+国内外連結子会社(生産系)

※2: 国内外連結子会社(生産系)